



「溶連菌感染症」と診断されたお子さんがおります。

よく見られる症状

- ・突然の高熱(38~39℃) ・のどの強い痛み ・扁桃腺の腫れ・白い膿(白苔)
- ・頭痛・倦怠感 ・首のリンパ節の腫れ ・発疹(猩紅熱)ざらざらした細かい発疹
が出る場合があります。
- ・舌が赤くブツブツ(いちご舌)子どもに多い症状 ・腹痛 ・吐き気・嘔吐

感染力について

溶連菌は感染力が強い細菌です

感染経路

- ・飛沫感染(咳・くしゃみ) ・接触感染(手指を介して口や鼻に入る)特に学校や保育園など、人が集まる場所で広がりやすいです
- ・抗生物質を飲み始めてから約 24 時間で感染力は大きく低下
- ・治療しない場合は 1~3 週間ほど感染力が続くとされます

* 保育園の感染症状況は園のホームページにて更新されておりますので、ご覧になり病院受診の参考にしてください。



注意 感染性胃腸炎にご注意を！

感染性胃腸炎が県全体で 1.2倍、横手地区でも増加しています。感染性胃腸炎では、原因に関わらず次のような症状がみられます。

- ・吐き気・嘔吐・水様性下痢・腹痛
- ・発熱(軽度~中等度)・倦怠感・悪寒



原因ウイルス	潜伏期間	特徴
ノロウイルス	12~48 時間	冬に多い。少量で感染し、嘔吐・下痢が急に始まる。
ロタウイルス	1~3 日	乳幼児に多く、白色便や強い下痢が特徴。
アデノウイルス	3~10 日	季節問わず発生。発熱を伴うことも。

☆下痢・嘔吐症状が落ち着き、普通便を確認、食欲が普段通りに戻ってから登園のご協力をお願いします。